



KONICA MINOLTA

Accurio*Press*

6136/6136P/6120

自動検品操作マニュアル

本書の目的

本書には、印刷の品質を自動的にチェックする自動検品機能の基本的な使い方を記載しています。

本文中の表記と記号

注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

参考

- トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。

参照

トピックに関連した機能を参照できます。

その他の表記や記号は、以下のような意味になります。

本文中の表記	説明
[]	タッチパネルのキー名称、コンピューター画面上のキー名称などを表します。
太字	操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

本書では、製品名やシステム構成などを以下のように表記しています。

製品名	説明
AccurioPress 6136 / 6136P / 6120	本機：オプションや機能を含めたシステム全体を示します。 本体：本機において、印刷機能を受け持つメインユニットを示します。 機械：構造や機構に関わる機械的な部分を示します。
Microsoft Windows	Windows

もくじ

1 機能概要

1.1	自動検品とは	1-2
-----	--------------	-----

2 自動検品設定

2.1	自動検品の詳細を事前に設定する	2-2
2.1.1	自動検品の詳細設定について	2-2
2.1.2	[自動検品レベル設定]	2-4
2.1.3	[自動検品 NIC 設定]	2-5
2.1.4	[メモリー残量]	2-6
2.1.5	[UK-301 セキュリティー設定]	2-7
2.1.6	自動検品通知	2-8
2.1.7	[UK-301 異常画像保存許可設定]	2-9
2.2	自動検品レベルを確認する	2-10

3 自動検品の実施

3.1	新しく基準画像を作成し、自動検品を実施する	3-2
3.2	既に作成した基準画像を選択し、自動検品を実施する	3-6
3.3	ウエイト設定のジョブで、新しく基準画像を作成して自動検品を実施する	3-10
3.4	ウエイト設定のジョブで、既に作成した基準画像を選択して自動検品を実施する	3-12

4 自動検品レポート

4.1	自動検品レポートを確認する	4-2
4.2	本体からの確認方法	4-3
	手順	4-3
4.3	紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities からの確認方法	4-8
	手順	4-8
	自動検品レポートの見かた	4-9
	Summary	4-10
	Machine Information	4-10
	Job Information	4-10
	Auto Inspection Level Detailed Setting	4-11
	Failure Details	4-11
	基準外画像	4-12
4.4	自動検品レポートを PDF で確認する	4-13
	概要	4-13

5 基準画像

5.1	基準画像を管理する	5-2
-----	-----------------	-----

6 自動検品領域

6.1	自動検品領域とは	6-2
	概要	6-2
	検査除外領域	6-2
	バーコード領域	6-2
	シリアル No. (数字) 領域	6-2
6.2	検品領域を設定する	6-4



7 出力設定

7.1	異常が検知された印刷物を、別のトレイに排出する	7-2
	概要	7-2
	手順	7-3
7.2	異常が検知された印刷物を、同じトレイに排出する	7-5
	概要	7-5
	手順	7-5
7.3	バーコード領域またはシリアル No. (数字) 領域をデコードして確認する	7-8
	概要	7-8
	手順 (基準画像を作成する)	7-8
	手順 (検品領域を設定する)	7-10
	手順 (デコードする)	7-12
7.4	バーコード領域またはシリアル No. (数字) 領域をシーケンシャル確認する	7-14
	概要	7-14
	手順 (基準画像を作成する)	7-14
	手順 (検品領域を設定する)	7-14
	手順 (デコードする)	7-16

8 トラブルシューティング

8.1	設定基準外画像が検知されたら	8-2
	基準外画像レポートの状況と対処方法	8-2

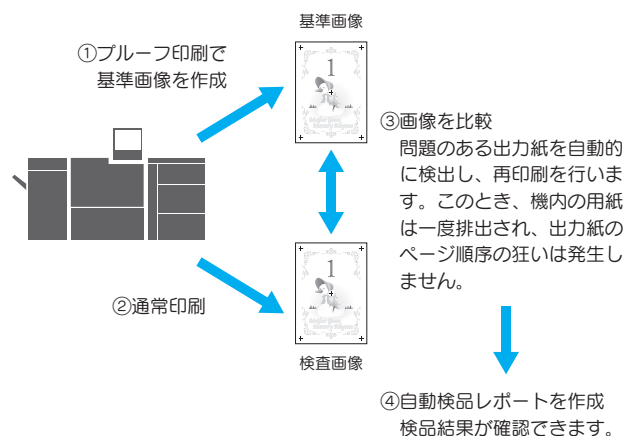


機能概要

機能概要

1.1 自動検品とは

センサーによって、印刷中に発生した画像の汚れを自動的に検知し、問題のある出力紙を排除します。検品にかかる作業コストを軽減し、印刷工程を効率化します。



参考

- 自動検品の対象となる用紙サイズは、インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501 の対応サイズと同じです。ただし、長さ 487.8 mm 以上の長尺紙は対象外です。

重要

本機能を使用するためには、以下のオプションが必要です。

インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501

ビデオインターフェイスキット VI-512

紙面検査ユニット UK-301

ビデオインターフェイスキット VI-513

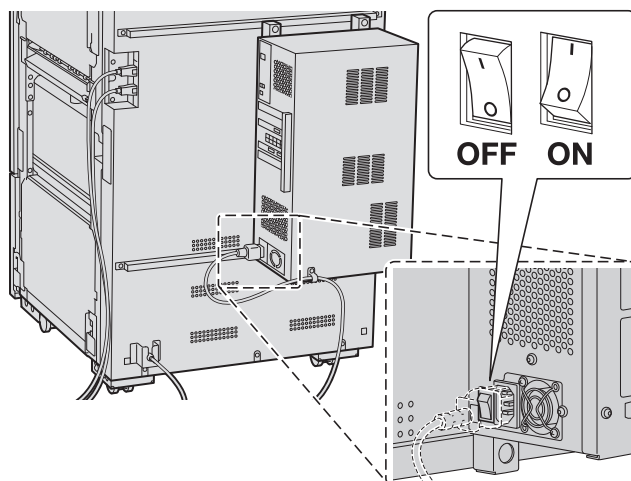
中継搬送ユニット RU-702

重要

紙面検査ユニット UK-301 の電源スイッチを ON にしてから、本機の副電源スイッチを ON にしてください。

紙面検査ユニット UK-301 の電源は、本機の副電源スイッチと連動しています。本機の副電源スイッチを OFF にするときに、紙面検査ユニット UK-301 の電源スイッチを OFF にする必要はありません。

本機の主電源スイッチを強制的に OFF にした場合、紙面検査ユニット UK-301 の電源スイッチも OFF にしてください。



管理者パスワードの初期値については、別冊 [安全にお使いいただくために] をご覧ください



自動検品設定

2 自動検品設定

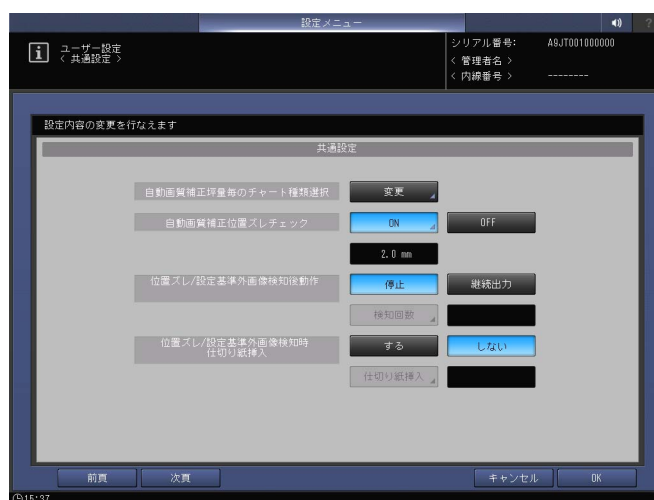
2.1 自動検品の詳細を事前に設定する

2.1.1 自動検品の詳細設定について

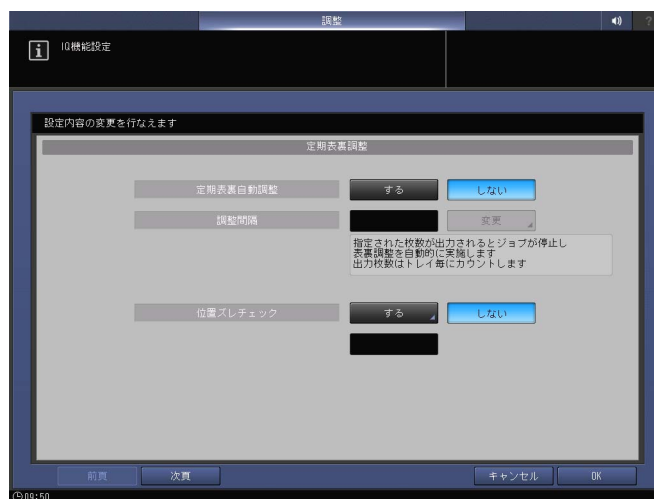
検品の基準や検知時の動作などを設定します。

設定は、下記のいずれかから行います。

- ・ [設定メニュー] - [ユーザー設定] または [管理者設定] - [共通設定]



- ・ [機械状態] 画面の [IQ 機能設定]



設定項目	説明
[位置ズレ / 設定基準外画像検知後動作]	基準を満たさない出力紙が発生した場合の動作を設定します。 即座に停止するか、検知数が基準を超えた場合のみ停止するかを設定できます。 ※ 検知数の基準値を「0」に設定した場合、検知数がどれだけ増えても本機は停止しません。

設定項目	説明
[位置ズレ / 設定基準外画像検知時仕切り紙挿入]	基準を満たさない出力紙が発生した場合の仕切り紙の挿入の設定をします。 挿入する場合、仕切り紙をセットする給紙トレイを選択します。
[位置ズレ / 設定基準外画像検知時自動再印刷]	基準を満たさない出力紙が発生した場合の再印刷の設定をします。再印刷を行う場合、機内の用紙は一度排出され、出力紙のページ順序の狂いは発生しません。
[設定基準外画像排紙先]	基準を満たさない出力紙の排紙先の設定をします。 中継搬送ユニット RU-702 のバージトレイと、以降に装着されている排紙系オプションのサブトレイを組み合わせて使用できるほか、ジョブと同じトレイも選択できます。 ※ 折り機 FD-503、大容量スタッカー LS-506、中綴じ機 SD-506 のサブトレイには排紙できません。また、重ね三つ折り、中とじ、中折りモードを使用中に中綴じ機 SD-513 のサブトレイへの排紙はできません。 ※ 中継搬送ユニット RU-702 以降に排紙可能なオプションが接続されていない場合は、[RU702 + サブトレイ] のボタンはグレーアウトします。
[自動検品レポートの作成]	自動検品の結果レポートの作成の設定をします。 基準を満たさない出力紙の自動排紙を行わない場合は、レポートを元にユーザー自身で基準外の出力紙を処理します。
[自動検品レベル設定]	自動検品の検査基準を調整します。[ゆるい]、[ふつ]、[きびしい] の3レベルがあり、それぞれの検出基準を調整できます。詳しくは、本書「2.1.2 [自動検品レベル設定]」をごらんください。
[自動検品ウエイト画面]	ウエイト画面での自動検品の設定をします。ダイレクトプリントなど、印刷ジョブを一時保存せずに出力する際に、ウエイトでジョブを投入すると自動検品が設定できるようになります。
[基準画像の自動削除]	自動検品で作成する基準画像の自動削除の設定をします。基準画像メモリーの容量が不足した場合に、[基準画像リスト 1] にある更新日時が最も古い基準画像を自動的に削除します。

重要

[基準画像の自動削除] のデフォルトは [する] です。自動的に削除しない場合は [しない] に設定してください。

2.1.2 [自動検品レベル設定]

自動検品で検知する、汚れのサイズや濃度などの基準値を設定します。

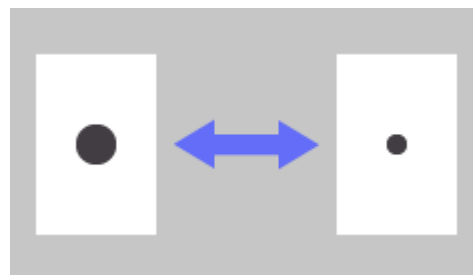


設定項目

[検知濃度レベル]

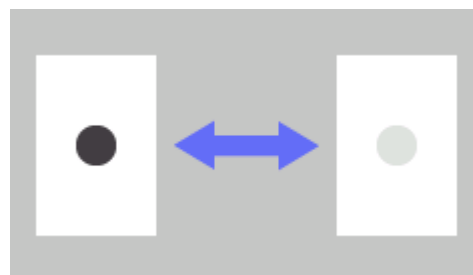
説明

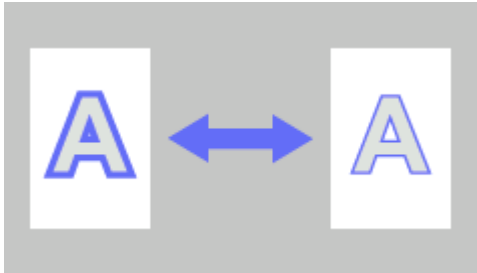
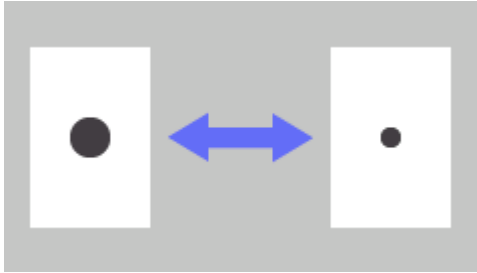
範囲：1(大)～7(小)
検知対象となる汚れのサイズと濃度の基準を調整します。



[用紙ノイズ除去レベル]

範囲：1(強)～7(弱)
用紙そのものに由来するノイズを、どの程度まで検知対象から除外するかを調整します。



設定項目	説明
〔画像エッジ周辺検知感度〕	<p>範囲：1(低)～7(高)</p> <p>画像の端部周辺にある検査領域の感度を調整します。画像の端部周辺は、画像不良がなくても微かな画像位置ズレが発生する場合があるため、感度を高くすると頻繁に再印刷が発生する可能性があります。</p> 
〔基準画像の汚れ許容レベル〕	<p>範囲：1(大)～7(小)</p> <p>基準画像で発生した画像の汚れを許容する基準値を調整します。</p> <p>基準画像を作成するときに、画像不良が紛れ込む場合があります。この状態で自動検品を行うと、検査画像に「問題がない」ことを、異常として検知してしまいます。この基準値を小さくすることで、基準画像の画像不良をある程度許容し、スムーズな印刷を行うことができます。</p> 

2.1.3 〔自動検品 NIC 設定〕

〔自動検品 NIC 設定〕を行うことで、紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities から自動検品レポートが確認できます。設置時にはデフォルトで設定が行われています。

設定を確認または変更する場合は、下記から行います。

- 〔設定メニュー〕 - 〔管理者設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔自動検品 NIC 設定〕



設定項目	説明
[IP アドレス]	紙面検査ユニット UK-301 の IP アドレスの設定をします。
[サブネットマスク]	紙面検査ユニット UK-301 のサブネットマスクの設定をします。
[ゲートウェイアドレス]	紙面検査ユニット UK-301 のゲートウェイアドレスの設定をします。
[回線速度設定]	紙面検査ユニット UK-301 の回線速度の設定をします。ネットワーク環境に合わせて調整してください。

2.1.4 [メモリー残量]

メモリー残量を確認できます。

確認は、下記から行います。

- [機械状態] - [メモリー残量]



- 本体

項目名	説明
[メモリー]	本体メモリーの残量が表示されます。
[ファイルシステム]	本体ファイルシステムの残量を表示します。

- UK-301 HDD

項目名	説明
[メモリー]	紙面検査ユニット UK-301 のメモリーの残量が表示されます。
[基準画像メモリー]	紙面検査ユニット UK-301 の基準画像メモリーの残量が表示されます。
[検品レポートメモリー]	紙面検査ユニット UK-301 の検品レポートメモリーの残量が表示されます。



参考

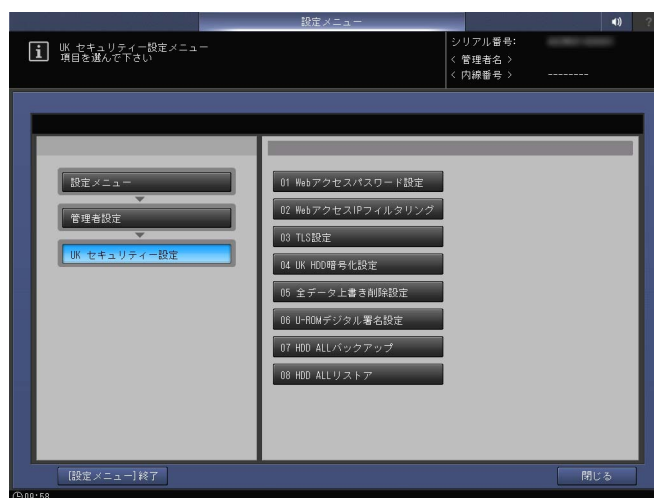
- 空き容量が不足すると、ジョブが中止する可能性があります。[空き容量回復方法] の指示に従い、空き容量を増やしてください。

2.1.5 [UK-301 セキュリティー設定]

紙面検査ユニット UK-301 のセキュリティーを設定します。お使いの環境に合わせて、必要な対策を実施してください。

設定は、下記から行います。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [UK-301 セキュリティー設定]



設定項目	説明
[Web アクセスパスワード設定]	紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities のパスワードを設定します。
[Web アクセス IP フィルタリング]	紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities の IP フィルタリングを設定します。 IP アドレスの有効範囲を設定することで、範囲外の IP アドレスからのアクセスを制限します。サブネットマスクとの連動も可能です。
[TLS 設定]	紙面検査ユニット UK-301 のネットワーク通信の暗号化を設定します。 ON にすると、TLS による暗号化が行われます。
[UK HDD 暗号化設定]	紙面検査ユニット UK-301 の HDD の暗号化を設定します。 パスワードを設定して、データを暗号化します。
[全データ上書き削除設定]	紙面検査ユニット UK-301 の HDD 内のデータをすべて削除します。上書き処理による削除を行うことで、リース返却時の情報流出などを防ぎます。
[U-ROM デジタル署名設定]	紙面検査ユニット UK-301 のデジタル署名を設定します。 ON にすると、デジタル署名による認証が有効になり、紙面検査ユニット UK-301 のファームウェアのアップデートが、より安全に実施できるようになります。
[HDD ALL バックアップ]	紙面検査ユニット UK-301 の HDD 内のデータを外付け記憶媒体にバックアップします。
[HDD ALL リストア]	あらかじめ外付け記憶媒体に保存しておいたデータを使用して、紙面検査ユニット UK-301 の HDD をリストアします。

重要

既に基準画像または未作成の自動検品レポートが存在する状態で UK HDD 暗号化を有効にすると、基準画像を表示するときに「しばらくお待ちください。」の画面が表示されたままフリーズが起きるなど、本機が正常に動作しない可能性があります。

UK HDD 暗号化を有効にする場合は、あらかじめ基準画像と未作成の自動検品レポートをすべて削除してください。

2.1.6 自動検品通知

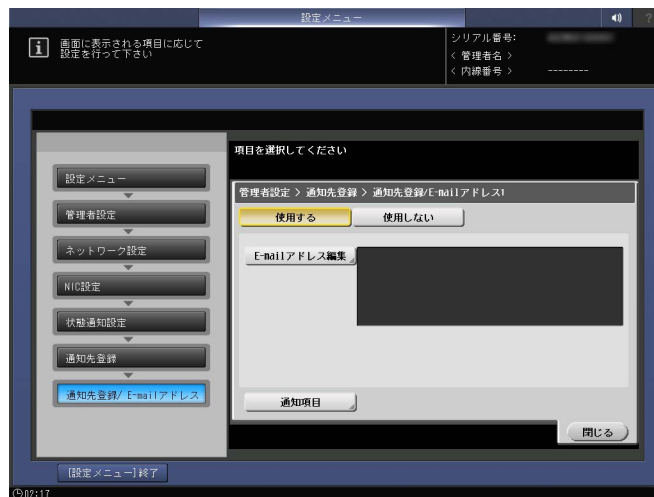
自動検品通知を設定します。メールアドレスを登録すると、画像に汚れが発生したときに自動で通知メールが送信されます。

通知先メールアドレスの登録は、下記から行います。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定] - [詳細設定] - [状態通知設定] - [通知先登録] - [E-mail アドレス] - [使用する] - [E-mail アドレス編集]

自動検品通知設定は、下記から行います。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定] - [詳細設定] - [状態通知設定] - [通知先登録] - [E-mail アドレス] - [使用する] - [通知項目] - [自動検品]



2.1.7 [UK-301 異常画像保存許可設定]

サービスコール発生時に、ログ保存を許可するかどうかを設定します。また許可する場合は画像をマスクするかを設定します。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [UK-301 異常画像保存許可設定]



設定項目	説明
[異常画像のログ保存]	サービスコール発生時に、ログ保存を許可するかどうかを設定します。保存されたログは、サービスエンジニアの対応時に活用されます。
[画像の保存設定]	ログとして保存する画像に対するマスクを設定します。[画像をマスクする]を選択すると、用紙縁から 1 mm 内側全ての領域が黒塗りされた状態で保存されます。[画像全面]を選択すると黒塗りが無い状態で保存されます。画像が目に触れても問題ない場合のみ設定してください。

2.2 自動検品レベルを確認する

自動検品テストチャートを使用して、印刷用紙上での検品レベルを確認できます。

実際の自動検品では、用紙や画像によって画像に現れる汚れの見え方（大きさや濃さ）が異なるため、検品レベルを調整するときはテストチャートを使用してください。

2種類の自動検品テストチャートを使用します。

- 基準チャート：
基準チャートは表内にドットがありません。

Auto Inspection System
Level Check Chart ver. 01

spot	Bk tone 255 = D-max 0 = white				
	125	75	50	25	15
0.5mm					
1.0mm					
1.5mm					
2.0mm					

- 検査チャート：
検査チャートは表内にドットがあります。

Auto Inspection System
Level Check Chart ver. 01

spot	Bk tone 255 = D-max 0 = white				
	125	75	50	25	15
0.5mm
1.0mm
1.5mm
2.0mm



参考

- 自動検品テストチャートの入手方法については、サービス実施店にお問い合わせください。

1 自動検品の詳細を設定します。

検品の基準や検知時の動作などを設定します。設定について詳しくは、本書「2.1 自動検品の詳細を事前に設定する」をごらんください。ここでは、下記のように設定します。



[位置ズレ / 設定基準外画像検知時自動再印刷] : [しない]

[設定基準外画像排紙先] : [ジョブと同じ]

[自動検品レポートの作成] : [する]

2 [自動検品レベル詳細設定] を設定します。

ここでは [ふつう] の各設定を、検品レベルを確認したい値に変更します。



3 基準チャートを使用して、基準画像を作成します。

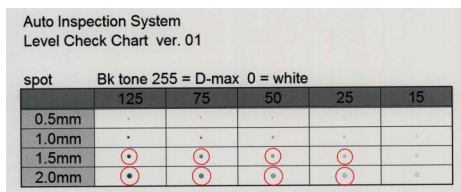
本書「3.1 新しく基準画像を作成し、自動検品を実施する」の手順に従って基準画像を作成します。

4 手順3で作成した基準画像と検査チャートを使用して、自動検品を実施します。

本書「3.2 既に作成した基準画像を選択し、自動検品を実施する」の手順に従って自動検品を実施します。[基準画像設定] の [登録画像から選択] では、手順3で作成した基準画像を選択します。また、[検品レベル選択] では [ふつう] を選択します。

5 自動検品レポートを確認します。

本書「4.1 自動検品レポートを確認する」に従ってレポートを確認します。手順 2 で設定したレベルと赤枠で囲まれた箇所が一致しているかを確認します。



spot	Bk tone 255 = D-max 0 = white				
	125	75	50	25	15
0.5mm	-	-	-	-	-
1.0mm	-	-	-	-	-
1.5mm	●	●	●	●	●
2.0mm	●	●	●	●	●

重要

印刷ごとの微妙な変化により、自動検品の結果が異なる場合があります。3～5回ほど自動検品を実施した上で、結果を総合して判断してください。

6 調整が必要な場合は、手順 2～手順 5 を繰り返します。

重要

実際の出力原稿では、自動検品テストチャートと見え方が異なる場合があります。必要に応じて、[自動検品レベル詳細設定] を再設定してください。



自動検品の実施

3 自動検品の実施

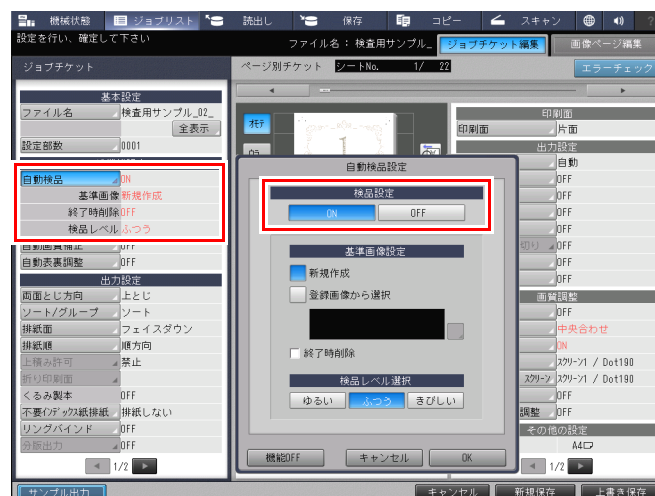
3.1 新しく基準画像を作成し、自動検品を実施する

新たに自動検品を実施する場合は、基準画像を作成したあとでジョブを実行します。

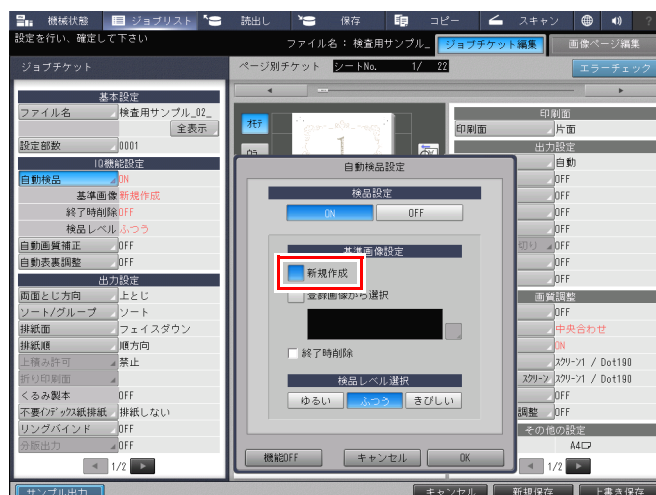
- 1 印刷ジョブを本機に一時保存します。
プリンタードライバーから印刷する場合は、PS Plug-in ドライバーの「ワークフロー」タブで保存先を変更してください。
ジョブの一時保存について詳しくは、HTML ユーザーズガイドの「ジョブ管理」をごらんください。
- 2 「機械状態」画面の「ジョブリスト」を押して、「一時保存ジョブ」画面を表示します。
- 3 一時保存した印刷ジョブを選択し、「ジョブチケット」を押します。
「ジョブチケット編集」画面が表示されます。



- 4 「自動検品」を押します。
「自動検品設定」ウィンドウが開きます。
- 5 「検品設定」を「ON」に設定します。



6 「基準画像設定」の「新規作成」を有効にします。



7 各項目を設定し、[OK] を押して確定します。

印刷終了時に「基準画像」を削除する場合は「終了時削除」を設定します。
出力の目的に応じて「検品レベル選択」を設定します。

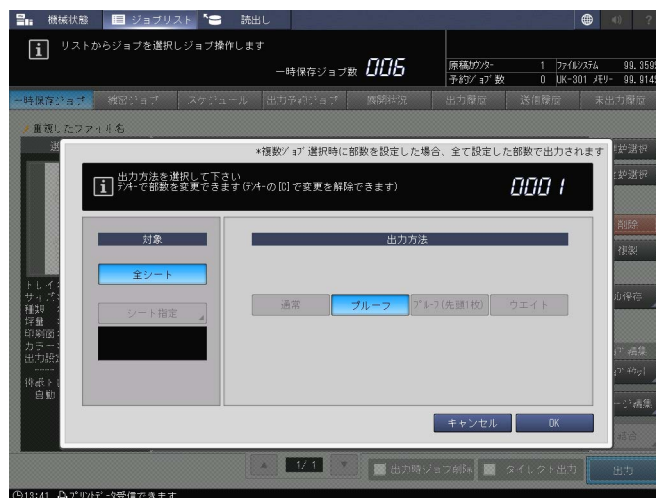
8 「新規保存」または「上書き保存」を押します。

設定が保存され、「一時保存ジョブ」画面に戻ります。

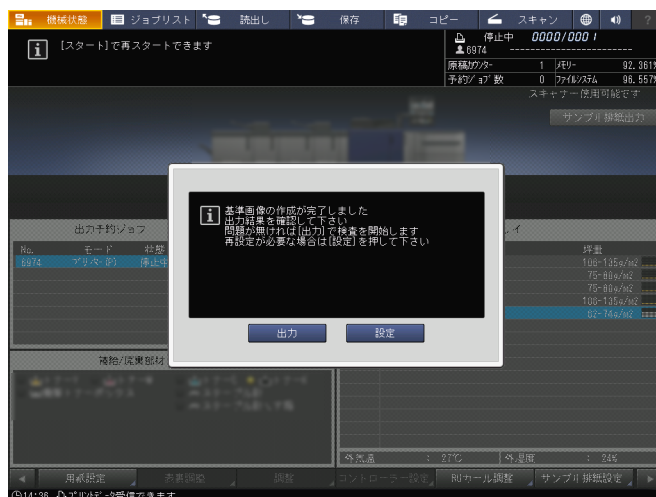


9 「出力」を押し、「OK」を押します。

「ブルーフ」として1部が出力され、自動検品の基準画像が作成されます。出力紙に異常がないかどうか確認してください。



→ ジョブチケットを変更したい場合は、「設定」で変更できます。



10 内容を確認し、「出力」を押します。

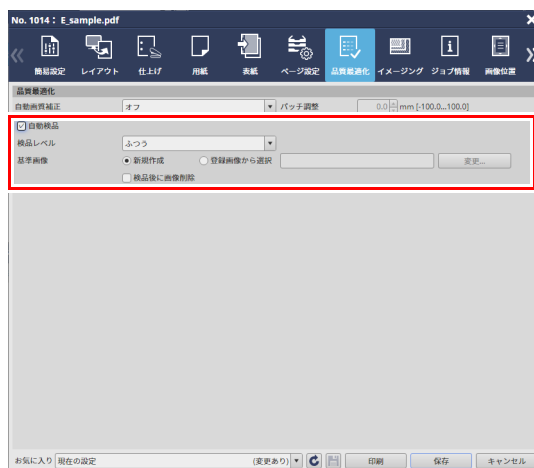
印刷ジョブが開始し、「自動検品」が実施されます。検品で異常が検出された場合は、「[IQ 検出結果]」に表示されます。「自動検品」のレポートについては、本機または紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で確認できます。

参考

- 「自動検品領域」を設定したい場合は、「サンプル出力」による基準画像の作成をおすすめします。「自動検品領域」について詳しくは、本書「6. 自動検品領域」をごらんください。そのあと、本書「3.2 既に作成した基準画像を選択し、自動検品を実施する」の手順で自動検品を行います。
- エンボス紙、未印字挿入紙、パンチ穴のある用紙、インデックス紙、挿入紙は自動検品の対象外です。
- ナンバリングやページ番号が印刷済みの用紙または日付や時刻のスタンプ機能を使用する場合は、検品対象外の領域を設定すると検品できます。詳しくは、本書「6. 自動検品領域」をごらんください。

**参考**

- [自動検品] は AccurioPro Print Manager でも設定できます。



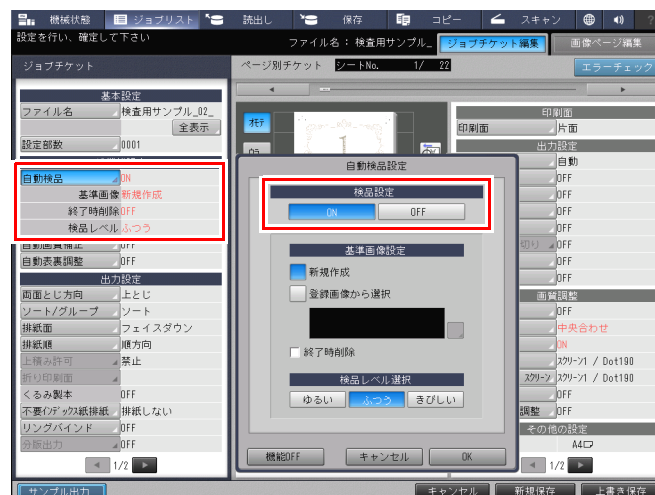
3.2 既に作成した基準画像を選択し、自動検品を実施する

既に作成した基準画像を使用して〔自動検品〕を行う場合は、リストから画像を選択する必要があります。

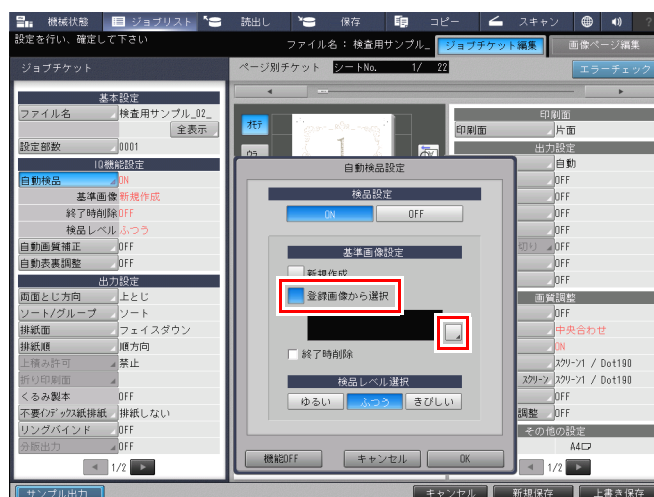
- 1 印刷ジョブを本機に一時保存します。
プリンタードライバーから印刷する場合は、PS Plug-in ドライバーの〔ワークフロー〕タブで保存先を変更してください。
ジョブの一時保存について詳しくは、HTML ユーザーズガイドの〔ジョブ管理〕をごらんください。
- 2 〔機械状態〕画面の〔ジョブリスト〕を押して、〔一時保存ジョブ〕画面を表示します。
- 3 一時保存した印刷ジョブを選択し、〔ジョブチケット〕を押します。
〔ジョブチケット編集〕画面が表示されます。



- 4 〔自動検品〕を押します。
〔自動検品設定〕ウインドウが開きます。
- 5 〔検品設定〕を〔ON〕に設定します。



- 6 「基準画像設定」の「登録画像から選択」を選択し、右下の白いボタンを押します。
「基準画像選択」画面が表示されます。

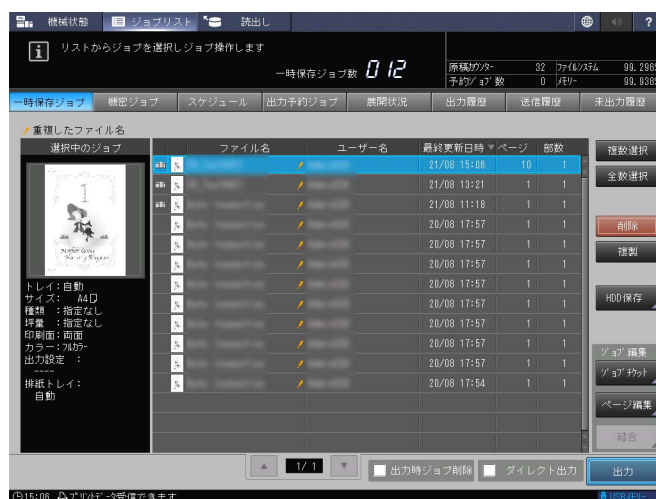


- 7 使用する「基準画像」を選択し、[OK] を押します。
「自動検品設定」画面に戻ります。



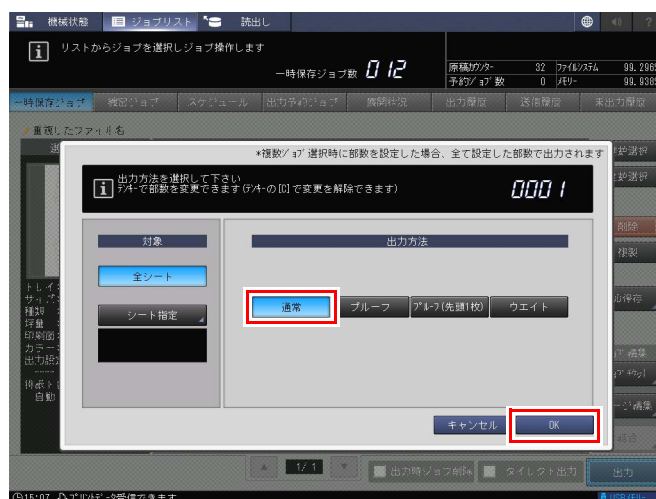
- 8 各項目を設定し、[OK] を押して確定します。
印刷終了時に「基準画像」を削除する場合は「終了時削除」を設定します。
出力の目的に応じて「検品レベル選択」を設定します。

- 9 [新規保存] または [上書き保存] を押します。
設定が保存され、[一時保存ジョブ] 画面に戻ります。



- 10 [出力] を押し、[出力方法] から [通常] を選択して、[OK] を押します。

印刷ジョブが開始し、[自動検品] が実施されます。検品で異常が検出された際は、[IQ 検出結果] に表示されます。[自動検品] のレポートについては、本機または紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で確認できます。

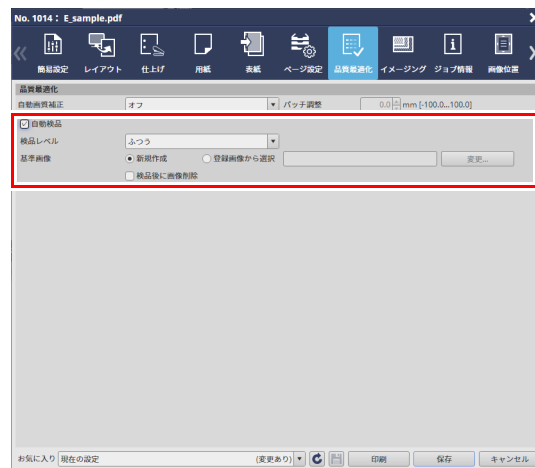


参考

- エンボス紙、未印字挿入紙、パンチ穴のある用紙、インデックス紙、挿入紙は自動検品の対象外です。
- ナンバリングやページ番号が印刷済みの用紙または日付や時刻のスタンプ機能を使用する場合は、検品対象外の領域を設定すると検品できます。詳しくは、本書「6. 自動検品領域」をごらんください。

**参考**

- 基準画像は AccurioPro Print Manager でも選択できます。



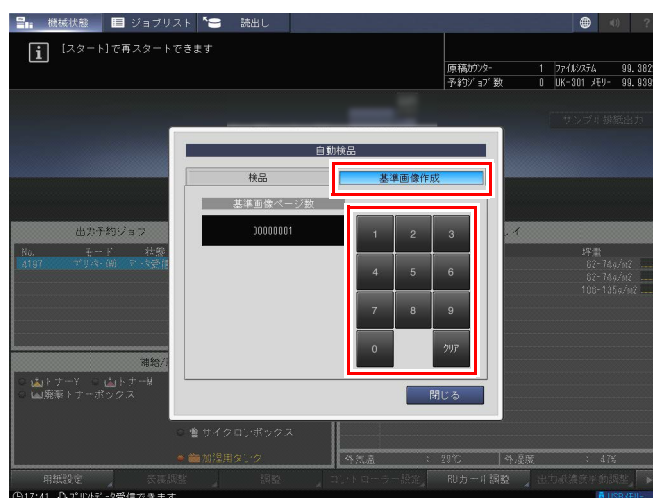
3.3 ウェイト設定のジョブで、新しく基準画像を作成して自動検品を実施する

ウェイト設定でジョブを実行することで、ダイレクトプリントなど印刷ジョブを一時保存しないで出力する場合も、自動検品が使用できます。データ量の大きいジョブをすぐに印刷したいときなど、一時保存したくない場合に便利な機能です。

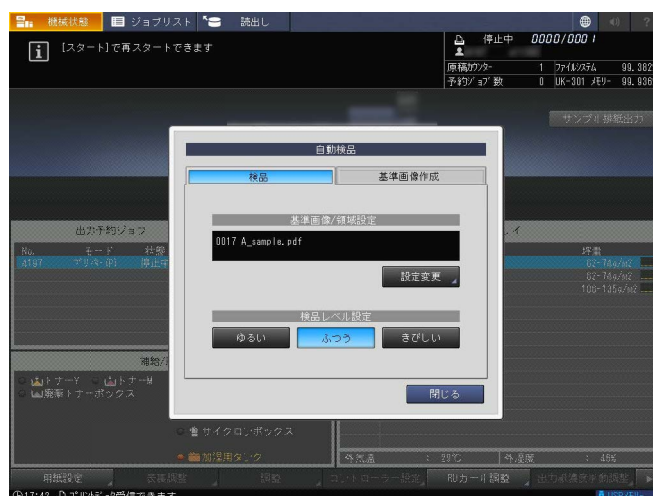
重要

事前に「自動検品ウェイト画面」を「する」に設定してから、本機能をご使用ください。

- 1 印刷ジョブをウェイト設定で出力します。
操作パネルに「自動検品」画面が表示されます。
→ ウェイト出力の方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- 2 「基準画像作成」を押し、「基準画像ページ数」を入力します。



- 3 操作パネルのスタートを押します。
1 部が出力され、自動検品の基準画像が作成されます。出力紙に異常がないかどうか確認してください。出力後、自動でタッチパネルに「自動検品」画面が表示されます。
- 4 「検品」を押して、「基準画像 / 領域設定」と「検品レベル設定」を確認します。
「基準画像 / 領域設定」には、自動で作成された基準画像ファイル名が表示されます。また、検品レベル設定が変更できます。



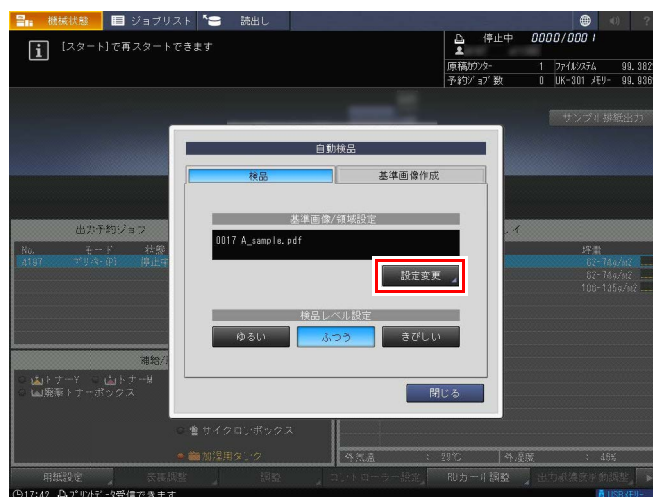
5 操作パネルのスタートを押します。

印刷ジョブが開始し、[自動検品] が実施されます。検品で異常が検出された際は、[IQ 検出結果] に表示されます。[自動検品レポート] は本機または紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で確認できます。

3.4 ウェイト設定のジョブで、既に作成した基準画像を選択して自動検品を実施する

ウェイト設定のジョブで既に作成した基準画像を使用して「自動検品」を行う場合は、リストから画像を選択する必要があります。

- 1 印刷ジョブをウェイト設定で出力します。
操作パネルに「自動検品」画面が表示されます。
→ ウェイト出力の方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- 2 「基準順画像 / 領域設定」の「設定変更」を押します。
「基準画像選択」画面が表示されます。



- 3 使用する「基準画像」を選択し、「OK」を押します。
「自動検品」画面に戻ります。



- 4 操作パネルのスタートを押します。
印刷ジョブが開始し、「自動検品」が実施されます。検品で異常が検出された際は、「[IQ 検出結果]」に表示されます。「自動検品レポート」は本機または紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で確認できます。



自動検品レポート

4 自動検品レポート

4.1 自動検品レポートを確認する

〔自動検品〕の結果を確認したい場合、〔自動検品レポート〕を確認して、再印刷などの対応を行ってください。〔自動検品レポート〕は本機または紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で確認できます。

重要

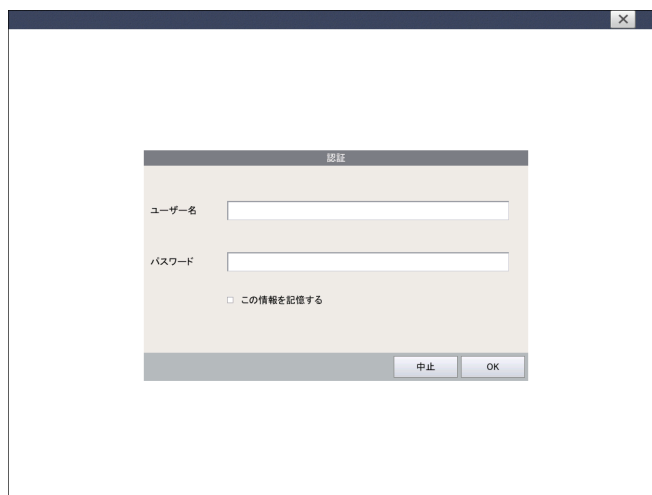
〔自動検品レポート〕を作成するには、事前に〔自動検品レポートの作成〕を有効にしたのち、自動検品を実施する必要があります。

〔自動検品レポート〕を表示するには、〔自動検品 NIC 設定〕を行う必要があります。

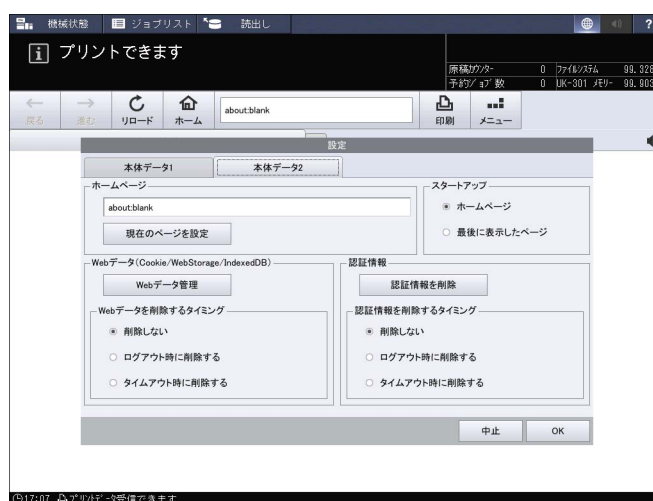
4.2 本体からの確認方法

手順

- 1 [機械状態] 画面の [自動検品レポート] を押します。
ログイン画面が表示されます。
- 2 [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、ログインします。
[ユーザー名] : webuser
パスワードは任意のものを入力してください。
[自動検品レポート] 画面が表示されます。



- [パスワード] は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [UK-301 セキュリティー設定] - [Web アクセスパスワード設定] から変更できます。パスワードを変更したあと、本機の副電源スイッチを OFF/ON します。
- [この情報を記憶する] にチェックを入れると、[ユーザー名]、[パスワード] が保存され、次回以降のログイン時に入力する必要がなくなります。
- 記憶された [ユーザー名]、[パスワード] を削除したい場合は、[機械状態] 画面の [Web ブラウザー] を押して [メニュー] - [設定] - [設定] を押し、[本体データ 2] 内にある [認証情報] を削除] を押します。



- その他、オプション構成によっては、毎回 [ユーザー名] と [パスワード] を入力しなければならない場合があります。

- 3 該当の [Link (Report)] を押します。
 [基準内画像] と [基準外画像] のリストが表示されます。




表示項目	説明
[ジョブ ID]	出力されたジョブの ID です。
[ジョブ出力日時]	ジョブが出力された日時です。
[ジョブファイル名]	出力されたジョブのファイル名です。
[検査結果]	正常、汚れなどの検品結果が表示されます。
[レポート作成状態]	レポートの作成状況が確認できます。未作成の場合、[Link(Report)] で詳細が確認できません。
[Link(Report)]	レポートの詳細が確認できます。
[Error Report]	ジョブの実行中に発生したエラーのレポートリストが表示されます。レポートは PDF で出力され、ジョブが完了したら自動的に削除されます。 エラーが発生していない場合は表示されません。

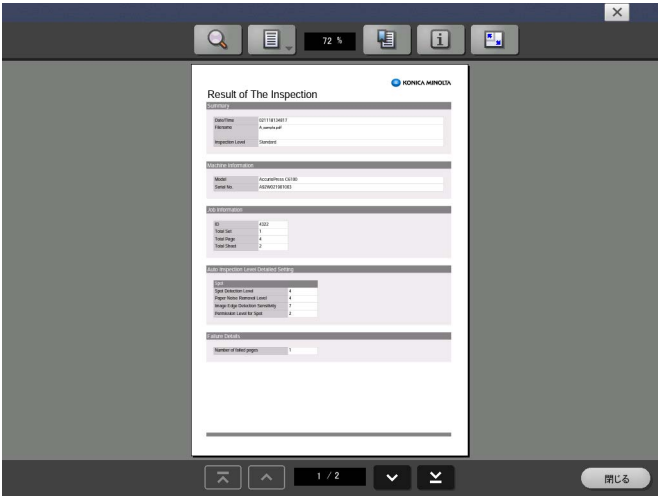
- 画面右上から、Japanese（日本語）または English（英語）に言語の切り替えができます。
- 異常が検出された場合、文字の色が変わります。
- 紙面検査ユニット UK-301 の HDD の容量が 100% になると、レポートが作成されなくなります。不要なレポートを選択して [Delete] を押し、レポートを削除してください。






- 4 [基準外画像] 下のファイル名を押し、[表示] を押します。
 自動検品レポート画面が表示されます。



[基準内画像] を確認する場合は、紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities から確認してください。
 [デコード結果] は数字／バーコードのデコード結果のレポートです。ブラウザからアクセスして確認してください。

- 5 「」を押します。
基準外箇所のリストが表示されます。



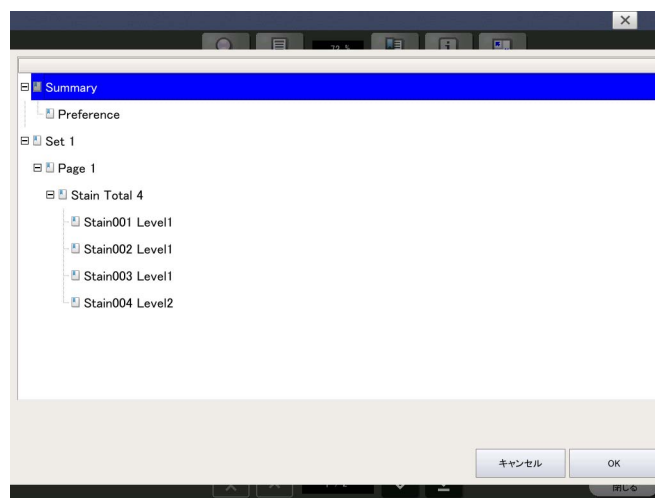
キー種類	説明
	レポート内を文字検索します。該当箇所があれば、緑のマーカーで表示されます。
	ページの表示単位を、[単一]、[連続] に設定できます。
	どのページで汚れを関知したかを確認できます。
	ファイル名やサイズなどの情報を確認できます。
	拡大、縮小など画面の表示方法を変更できます。

- 画面右上の [x] を押すと [機械状態] 画面、画面右下の [閉じる] を押すと [基準内画像]、[基準外画像] の画面に戻ります。
- 自動検品レポートについて詳しくは、本書「4.3 紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities からの確認方法」をごらんください。

6 確認したい箇所を選択して、[OK] を押します。

検出されたページが表示されます。

→ 検出箇所について詳しくは、紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities をごらんください。



種類	説明
[Set]	基準外画像が検出された部の番号です。
[Page]	基準外画像が検出されたページ番号です。
[Stain Total]	汚れが検出された総数です。最大 20 件まで表示されます。
[Stain(XXX) Level(n)]	汚れのレベル (n) が表示されます。レベルについて詳しくは、本書「2.1.2 [自動検品レベル設定]」をごらんください。 XXX：通し番号
[Omission Total]	欠けが検出された総数です。最大 20 件まで表示されます。
[Omission(XXX) Level(n)]	欠けのレベル (n) が表示されます。 XXX：通し番号
[Barcode Total(n)]	バーコードまたは QR コードのエラー件数 (n) が表示されます。
[Blank(m)]	バーコードまたは QR コードがブランクだった領域が表示されます。 m：領域番号
[Decode Error(m)]	バーコードまたは QR コードがデコードできなかった領域が表示されます。 m：領域番号
[1st/2nd Mismatch(m)]	バーコードまたは QR コードの表裏不一致が発生した領域が表示されます。 m：領域番号
[Sequential Check Mismatch(m)]	バーコードまたは QR コードのシーケンシャルエラーが発生した領域が表示されます。 m：領域番号
[Serial No.(0-9)Total(n)]	数字のエラー件数 (n) が表示されます。
[Blank(m)]	数字がブランクだった領域が表示されます。 m：領域番号
[Decode Error(m)]	数字がデコードできなかった領域が表示されます。 m：領域番号
[1st/2nd Mismatch(m)]	数字の表裏不一致が発生した領域が表示されます。 m：領域番号
[Sequential Check Mismatch(m)]	数字のシーケンシャルエラーが発生した領域が表示されます。 m：領域番号
[Alignment error]	基準画像との位置合わせに失敗した場合に表示されます。
[CSV Read Error]	レポートの作成に失敗した場合に表示されます。

種類	説明
[Too Many Stains]	汚れが大量にある場合に表示されます。

4.3 紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities からの確認方法

手順

1 ブラウザーを起動します。

Web Utilities のブラウザーの動作環境について詳しくは、HTML ユーザーズガイドの [Web Utilities] をご覧ください。

2 アドレスバーに以下の URL を入力し、[Enter] を押します。

[http://<紙面検査ユニット UK-301 の IP アドレス>/]

(例) 紙面検査ユニット UK-301 の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合は、
[http://192.168.1.20/] と入力します。

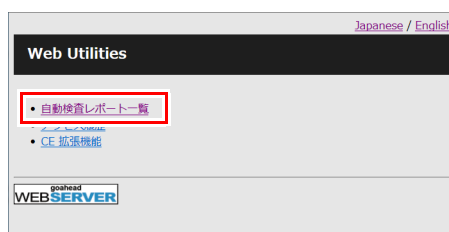
紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities のトップ画面が表示されます。

重要

[自動検品 NIC 設定] から紙面検査ユニット UK-301 の IP アドレスを事前に設定する必要があります。

3 [自動検査レポート一覧] をクリックします。

ログイン画面が表示されます。



→ 画面右上の [Japanese (日本語) / English (英語)] をクリックすると言語の切り替えができます。

→ その他、Web Utilities のトップ画面では操作内容が記録されている [アクセス履歴] と、サービスエンジニア (CE) 用メニューの [CE 拡張機能] が表示されます。

4 [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、ログインします。

[ユーザー名] : webuser

[パスワード] は任意のものを入力してください。

ログインが完了すると、[レポート一覧] 画面が表示されます。

→ [パスワード] は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [UK-301 セキュリティー設定] - [Web アクセスパスワード設定] から変更できます。

5 該当の自動検品レポートを確認します。

レポート一覧						
1 - 62 (Total 62)						
<input type="checkbox"/>	ジョブID	ジョブ実行日時	ジョブファイル名	検査結果	レポート作成状態	Link
<input type="checkbox"/>	17306	2020/02/05 19:31:03	Sample.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17305	2020/02/05 17:51:02	A_Sample.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17298	2020/02/04 11:13:03	MGI_A3_White spot.pdf	正常	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17297	2020/02/04 11:12:17	MGI_A3_Black spot.pdf	正常	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17296	2020/02/04 11:10:00	MGI_A3_Black spot.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17295	2020/02/04 11:07:44	MGI_A3_White spot.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17294	2020/02/04 11:06:15	MGI_A3_Black spot.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17293	2020/02/04 10:57:00	MGI_A3_White spot.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17292	2020/02/04 10:56:16	MGI_A3_White spot.pdf	正常	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17291	2020/02/04 10:54:51	MGI_A3_Black spot.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17290	2020/02/04 10:54:04	MGI_A3_Black spot.pdf	正常	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17285	2020/02/04 10:48:21	Adjacent stain.pdf	汚れ	作成完了	Report
<input type="checkbox"/>	17284	2020/02/04 10:47:11	Adjacent stain.pdf	正常	作成完了	Report

[レポート一覧] で表示される項目は以下のとおりです。

- [ジョブ ID]
- [ジョブ出力日時]
- [ジョブファイル名]
- [検査結果 (正常 / 汚れ)]
- [レポート作成状態 (作成完了 / 未作成)]
- [Link (Report)]
- [Error Report]

自動検品レポートの見かた

[Report] をクリックすると、[基準内画像]、[基準外画像] が表示されます。

- 異常が検出された場合、文字の色が変わります。
- 紙面検査ユニット UK-301 の HDD の容量が 100% になると、レポートが作成されなくなります。不要なレポートを選択して [Delete] をクリックし、データを削除してください。



表示項目	説明
[基準内画像]	検品基準を満たした出力物のレポートです。最大 1,000 ページのレポートが作成可能です。ページ数が 1,000 を超えた場合、別ファイルに分割されて PDF が作成されます。
[基準外画像]	<p>検品基準外となった出力物のレポートです。紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities から確認した場合、問題の箇所が赤字で囲まれ、その理由が表示されます。</p> 
[デコード結果]	数字／バーコードのデコード結果のレポートです。CSV 形式で作成されます。

レポートの PDF には、検品が行われた日時や検査レベルなどが表示されます。各項目について詳しくは、以下をごらんください。

Summary

Summary	
Date/Time	161018100620
Filename	test
Inspection Level	Standard

名称	説明
[Date/Time]	検品を行った日時が表示されます。
[Filename]	印刷時に使用したファイル名が表示されます。
[Inspection Level]	検査レベルが表示されます。 Standard：ふつう Essential：ゆるい Premium：きびしい

Machine Information

Machine Information	
Model	RecentPress C8000
Serial No.	A92W021901003

名称	説明
[Model]	自動検品を行った時に印刷した機種名が表示されます。
[Serial No.]	自動検品を行った時に印刷した機種のシリアル番号が表示されます。

Job Information

Job Information	
ID	17186
Total Set	1
Page/Set	6
Sheet/Set	3

名称	説明
[ID]	自動検品を行ったジョブの ID が表示されます。
[Total Set]	ジョブに対して設定した部数が表示されます。
[Page/Set]	1 部あたりのページ数が表示されます。
[Sheet/Set]	1 部あたりに使った用紙の枚数が表示されます。

Auto Inspection Level Detailed Setting

Auto Inspection Level Detailed Setting	
Stain	
Stain Detection Level	4
Paper Noise Removal Level	4
Image Edge Detection Sensitivity	7
Permission Level for Stain	2

ここでは、[自動検品レベル設定] で設定した項目について表示しています。詳しくは、本書「2.1.2 [自動検品レベル設定]」をごらんください。

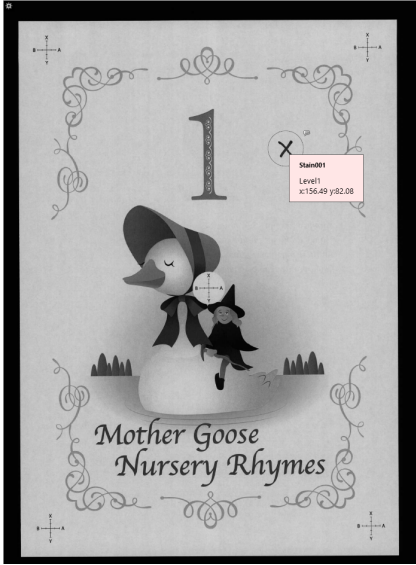
名称	説明
[Stain Detection Level]	[検知濃度レベル] が表示されます。
[Paper Noise Removal Level]	[用紙ノイズ除去レベル] が表示されます。
[Image Edge Detection Sensitivity]	[画像エッジ周辺検知感度] が表示されます。
[Permission Level for Stain]	[基準画像の汚れ許容レベル] が表示されます。

Failure Details

Failure Details	
Number of Failed Pages	1
Number of Stain Detection Pages	1
Number of Omission Detection Pages	0

名称	説明
[Number of failed pages]	基準外と判定されたページ数が表示されます。
[Number of Stain Detection Pages]	汚れが基準外画像と判定されたページ数が表示されます。
[Number of Omission Detection Pages]	欠けが基準外画像と判定されたページ数が表示されます。
[Number of Barcode Decode Error Pages]	バーコード / QR コードの読取りまたはデコードエラーが発生したページ数が表示されます。
[Number of Barcode Blank Pages]	バーコード / QR コードがブランクだったページ数が表示されます。
[Number of Barcode 1st/2nd Mismatch Pages]	バーコード / QR コードの表裏が不一致だったページ数が表示されます。
[Number of Barcode Sequential Check Mismatch Pages]	バーコード / QR コードの昇順または降順が不一致だったページ数が表示されます。
[Number of Serial No.(0-9) Decode Error Pages]	数字の読取りまたはデコードエラーが発生したページ数が表示されます。
[Number of Serial No.(0-9) Blank Pages]	数字がブランクだったページ数が表示されます。
[Number of Serial No.(0-9) 1st/2nd Mismatch Pages]	数字の表裏が不一致だったページ数が表示されます。
[Number of Serial No.(0-9) Sequential Check Mismatch Pages]	数字の昇順または降順が不一致だったページ数が表示されます。

基準外画像



問題の箇所は赤枠で囲まれ、詳細が以下のように表示されます。



名称	説明
[Stain(XXX)]	検知した汚れの個数が表示されます。(XXX は通し番号)
[Level(X)]	汚れの検知レベルが表示されます。(X はレベル)
[x:XXX.XX] [y:XXX.XX]	画像左上を基準に、汚れの位置が表示されます。 (x は横位置、y は縦位置を表します)

4.4 自動検品レポートを PDF で確認する

概要

ダウンロードした自動検品レポートの PDF を Adobe Acrobat で開くと、表示項目を変更できます。

基準内であると判断された汚れや欠け、設定した〔検査除外領域〕などを表示できるほか、検品結果の表示色を変更できます。

重要


この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

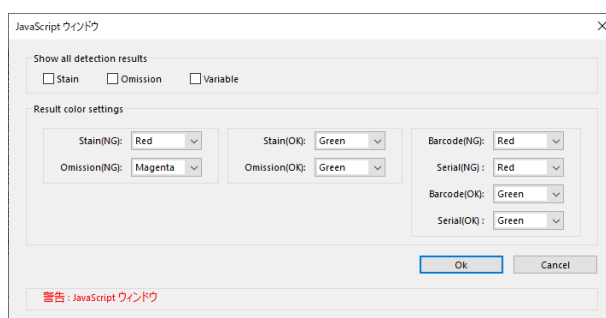
Adobe Acrobat の〔環境設定〕で〔Acrobat javascript を使用〕を有効にする



参照

Adobe Acrobat の設定や使用方法について詳しくは、Adobe Acrobat のヘルプをごらんください。

Adobe Acrobat の〔しおり〕から〔Preference〕またはを選択すると、ウィンドウが表示されます。必要な項目を設定して、〔OK〕をクリックします。



項目名		概要
〔Show all detection results〕	〔Stain〕	チェックを入れると、基準内であると判断された汚れや欠けが枠で囲まれます。
	〔Omission〕	
	〔Variable〕	チェックを入れると、〔検査除外領域〕や〔バーコード領域〕、〔シリアル No. (数字) 領域〕が表示されます。
〔Result color settings〕	〔Stain(NG)〕	汚れや欠けなど画像不良を囲む枠の色を設定します。
	〔Stain(OK)〕	
	〔Omission(NG)〕	
	〔Omission(OK)〕	
	〔Barcode(NG)〕	数字／バーコードの読み取りエラーなどを囲む枠の色を設定します。
	〔Serial(NG)〕	
	〔Barcode(OK)〕	
	〔Serial(OK)〕	



基準画像

5 基準画像

5.1 基準画像を管理する

過去に作成した基準画像を確認できます。



参考

- 基準画像は「基準画像リスト 1」に最大 1,000 件、「基準画像リスト 2」に最大 1,000 件保存できます。読み取り用紙サイズによっては、最大件数まで保存できない場合があります。

設定項目	説明
「基準画像リスト 1」	「基準画像リスト 1」に登録した画像が確認できます。過去に自動検品に使用した画像の「基準画像名」欄には黄色い丸アイコンが表示されます。「基準画像リスト 1」には、使用頻度の高い画像の登録をおすすめします。自動検品を行う場合は、「基準画像リスト 1」に基準画像を配置する必要があります。
「基準画像リスト 2」	「基準画像リスト 2」に登録した画像が確認できます。過去に自動検品に使用した画像の「基準画像名」欄には黄色い丸アイコンが表示されます。「基準画像リスト 2」には、使用頻度の低い画像の登録をおすすめします。自動検品を行う場合は、「基準画像リスト 1」に基準画像を配置する必要があります。
「検品領域設定」	選択した基準画像の検品領域を設定します。詳しくは、本書「6. 自動検品領域」をごらんください。
「複数選択」	基準画像を複数選択します。複数選択している場合、リストの移動や検品領域設定はできません。
「全数選択」	基準画像をすべて選択します。
「削除」	選択した基準画像を削除します。
「基準画像リスト 2 へ移動」	選択した基準画像を「基準画像リスト 2」へ移動します。
「基準画像リスト 1 へ移動」	選択した基準画像を「基準画像リスト 1」へ移動します。



自動検品領域

6 自動検品領域

6.1 自動検品領域とは

概要

自動検品の対象外となる領域や、バリアブル印刷のように画像の一部を意図的に変更して印刷するなどの特殊な検品対象となる領域を設定します。不要なエラーの発生を防ぎ、連番印刷などのチェックを自動化することで効率の良い検品ができるようになります。

自動検品領域には、3つの種類があります。

検査除外領域

自動検品の対象外となる領域を設定します。

バーコード領域

バーコード検品の対象となる領域を設定します。対象領域にあるバーコードを読み取って、デコードします。また、数値が順番に変化しているかを確認できます。

以下の種類のバーコードに対応しています。

- CODE39
- CODE93
- CODE128
- JAN(EAN)
- ITF
- NW-7
- UPC
- QR Code
- PDF417
- Aztec Code

読取るバーコードは以下の条件を満たしている必要があります。

- ナローバー幅：0.3 mm 以上
- セルサイズ：0.35 mm 以上
- 背景色：白
- テキストの周囲に 5 mm 以上の余白があること



参考

〔領域種別選択〕で〔バーコード領域〕を選択した場合、シーケンシャル確認が設定できます。詳しくは、本書「7.4 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をシーケンシャル確認する」をごらんください。

シリアル No.（数字）領域

シリアル No.（数字）検品の対象となる領域を設定します。

対象領域にある数字を読み取って、デコードします。また、数値が順番に変化しているかを確認できます。読取る数字は以下の条件を満たしている必要があります。

- フォントタイプ：Gothic / Arial
- フォントサイズ：8 ポイント以上
- 背景色：白
- 最大文字数：20
- テキストの周囲に 5 mm 以上の余白があること

**参考**

- [領域種別選択] で [シリアル No. (数字) 領域] を選択した場合、シーケンシャル確認が設定できません。詳しくは、本書「7.4 バーコード領域またはシリアル No. (数字) 領域をシーケンシャル確認する」をごらんください。
- [シリアル No. (数字) 領域] で数字を読取る場合、対象領域の数字と数字の間隔が狭いと、誤認識が発生する可能性があります。
- [領域種別選択] で [バーコード領域] または [シリアル No. (数字) 領域] を選択した場合、デコード結果は CSV ファイルで作成されます。

6.2 検品領域を設定する

自動検品の対象外となる領域や、バリアブル印刷のように画像の一部を意図的に変更して印刷するなどの特殊な検品対象となる領域を設定します。

不要なエラーの発生を防ぎ、連番印刷などのチェックを自動化することで効率の良い検品ができるようになります。



参考

本機能のプレビュー画像は、通紙交差方向ではなく通紙方向を天地として表示されます。

- 1 検品領域を設定したい基準画像を選択し、[検品領域設定] を押します。



→ [ジョブチケット] 画面の [基準画像選択] - [検品領域設定] から設定できます。

2 設定画面で、検品領域を設定します。



表示項目	説明
[領域種別選択]	設定する領域の種類を設定します。
[対象面選択]	自動検品の対象となる面を選択します。[表面]、[裏面]、[指定] ページの3つがあり、それぞれ別の領域が設定できます。[指定ページ] は1ページのみ設定できます。
[領域設定]	[対象面選択] で選択した面に対して、領域を設定します。ドラッグ操作で領域を設定することもできます。1つの面に対して、最大30の領域を指定できます。設定可能範囲は0 mm ~ 488 mm です。 ※ [全域指定] を選択すると、対象面の全てが領域に指定されます。片面印刷時のウラ面などを指定する場合に使用します。
[端部除外設定]	用紙端部の検品除外領域を設定します。[領域種別選択] で [検査除外領域] を選択すると設定できます。
[シーケンシャル確認]	設定した領域内にある連続する数字またはバーコードが、正しく変化しているかを検査する設定をします。[領域種別選択] で [バーコード領域] または [シリアル No. (数字) 領域] を選択すると設定できます。 この機能はオプション機能です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

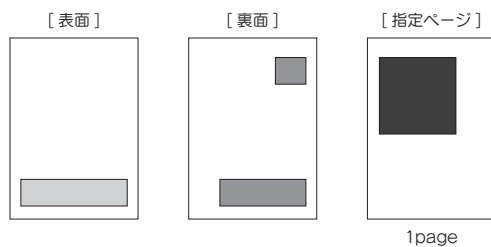
3 [設定完了] を押します。



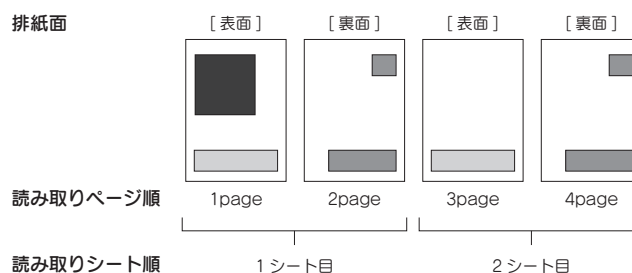
参考

- [対象面選択] で選択する面とページは、基準画像を作成したときにインテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501 が読み取ったとおりの順序となります。

設定例



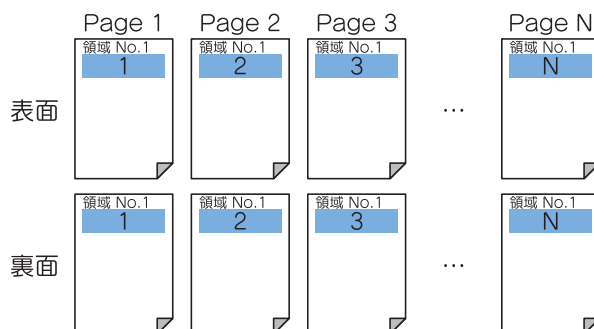
自動検品実施例



参考

- [指定領域一致 (表裏) ON] を選択すると、表面と裏面とに同じバーコードが出力されているか、シリアル No. が正しく変化しているかを自動でチェックします。[表面] と [裏面] に同一の領域 No. が設定されている場合に [領域設定] の中に表示されます。

指定領域一致の実施例



7 出力設定

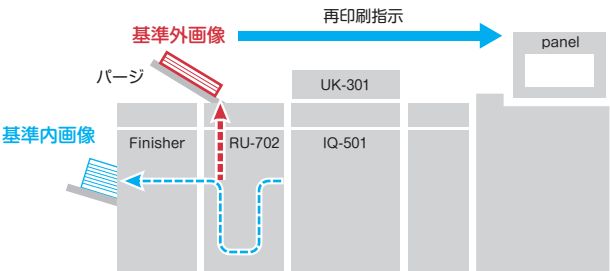
7 出力設定

7.1 異常が検知された印刷物を、別のトレイに排出する

概要

自動検品で異常が検知された印刷物をパージトレイに排出して、再印刷を行います。このとき、印刷物のページ順序が狂わないように、同じタイミングで機内にあった用紙もパージトレイに排出されます。

- 本書で紹介する例



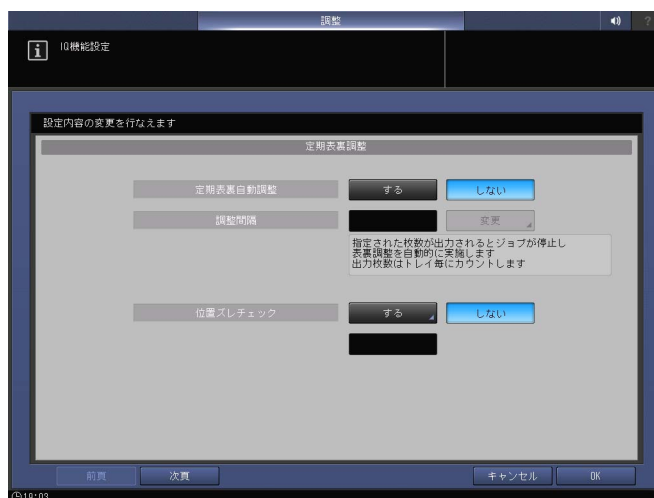
ここでは、異常が検知された印刷物と機内の用紙を中継搬送ユニット RU-702 のパージトレイに排出して、再印刷を行う機体構成を例とします。

想定環境

項目名	名称
OS	Windows10
アプリケーション	Adobe Acrobat Reader DC
プリンタードライバー	PS Plug-in ドライバー
排紙系オプション	インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501 ビデオインターフェイスキット VI-512 紙面検査ユニット UK-301 ビデオインターフェイスキット VI-513 中継搬送ユニット RU-702

手順

- 1 [機械状態] 画面の [IQ 機能設定] を押します。
[IQ 機能設定] 画面が表示されます。



- 2 [位置ズレ / 設定基準外画像検知後動作] の [継続出力] を選択し、[検知回数] を画面のテンキーで入力します。



- 3 [設定基準外画像排紙先] の [パージトレイ] を選択します。



4 [OK] を押します。

5 自動検品印刷を実施します。

詳しくは、本書「3. 自動検品の実施」をごらんください。

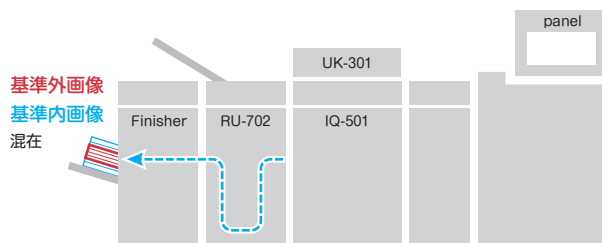
印刷中に異常が検知された場合、バージトレイに異常が検知された印刷物と同じタイミングで機内にあった用紙が排出されます。

7.2 異常が検知された印刷物を、同じトレイに排出する

概要

自動検品で異常が検知された印刷物をパージトレイに排出せず、通常の印刷物と同じトレイに排出します。ページの重複を避けるため、再印刷は行いません。用紙のロスを減らしたい場合、同じタイミングで機内にあった用紙をそのまま使用したい場合などに、この設定は有効です。

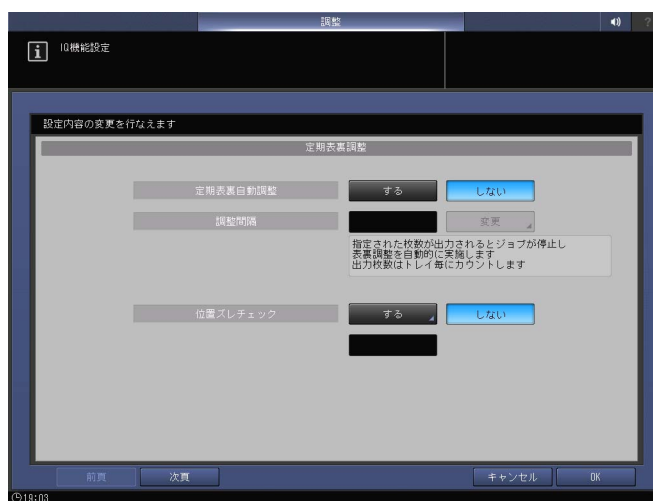
- 本書で紹介する例



この例では、通常の印刷物と異常が検知された印刷物が同じトレイに混在します。自動検品レポートを確認して、手動で対処してください。

手順

- 1 [機械状態] 画面の [IQ 機能設定] を押します。
[IQ 機能設定] 画面が表示されます。



- 2 [位置ズレ / 設定基準外画像検知後動作] の[継続出力]を選択し、[検知回数]を画面のテンキーで「00」と入力します。



異常を何回検知しても、印刷は継続されます。

- 3 [設定基準外画像排紙先] の[ジョブと同じ]を選択します。



- 4 [位置ズレ / 設定基準外画像検知時自動再印刷] の[しない]を選択します。



- 5 「自動検品レポートの作成」の「する」を選択します。



- 6 「OK」を押します。
- 7 自動検品印刷を実施します。
詳しくは、本書「3. 自動検品の実施」をごらんください。
印刷中に異常が検知された場合も、通常の印刷物と同じトレイに排出されます。
- 8 自動検品レポートを確認します。
詳しくは、本書「4. 自動検品レポート」をごらんください。
- 9 印刷物を確認します。
自動検品レポートの情報から、実際の印刷物を確認して対処します。

7.3 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をデコードして確認する

概要

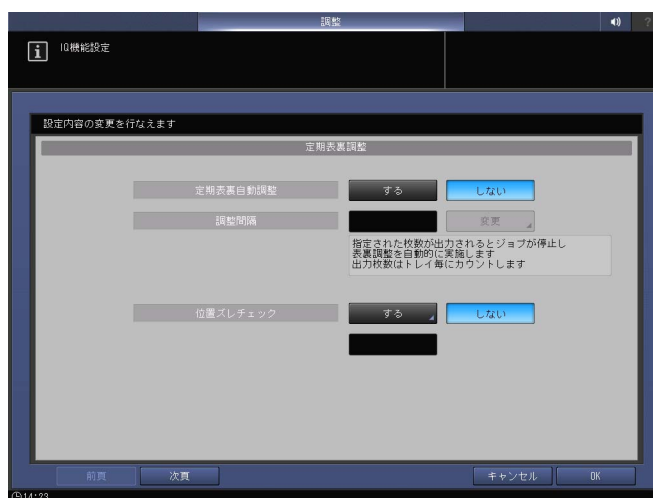
バーコード検品またはシリアル No.（数字）検品の対象となる領域にあるバーコードや数字を、デコードして確認できます。ここではその設定方法を説明します。

想定環境

項目名	名称
OS	Windows10
アプリケーション	Adobe Acrobat Reader DC
プリンタードライバー	PS Plug-in ドライバー
排紙系オプション	インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-501 紙面検査ユニット UK-301 中継搬送ユニット RU-702 ビデオインターフェイスキット VI-512 ビデオインターフェイスキット VI-513

手順（基準画像を作成する）

- 1 「機械状態」画面の「IQ 機能設定」を押します。
「IQ 機能設定」画面が表示されます。



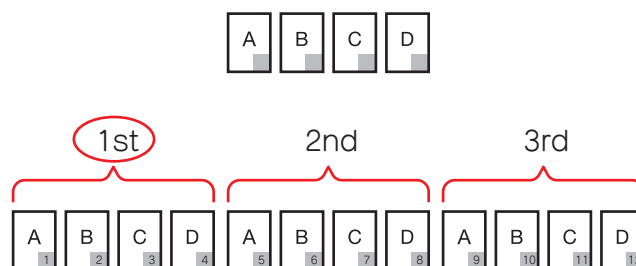
- 設定メニュー / カウンター - 「ユーザー設定」 - 「共通設定」または設定メニュー / カウンター - 「管理者設定」 - 「共通設定」でも設定できます。

- 2 「自動検品レポートの作成」の「する」を選択し、「OK」を押します。



- 3 基準画像作成用の印刷ジョブを本機に一時保存します。

→ 基準画像作成用の印刷ジョブを作成するときは、繰返し部分のうち 1 セットだけを選択してください。



A ～ D：基準画像

灰色部分：バリエابل領域

図は、バリエابلジョブが 12 シートあった場合に、4 つの基準画像（A、B、C、D）ごとに検品が 3 回繰返されることを示しています。検品の繰返し回数はジョブのシート数によって変わります。

- プリンタードライバーから印刷する場合は、PS Plug-in ドライバーの「ワークフロー」タブで保存先を変更してください。
- ジョブの一時保存について詳しくは、HTML ユーザーズガイドの「ジョブ管理」をごらんください。

- 4 「機械状態」画面の「ジョブリスト」を押して、「一時保存ジョブ」画面を表示します。

- 5 一時保存した印刷ジョブを選択し、[ジョブチケット] を押します。
[ジョブチケット編集] 画面が表示されます。



- 6 [自動検品] を押し、[検品設定] を [ON] に設定して [基準画像設定] の [新規作成] を有効にします。
→ 手順について詳しくは、本書「3.1 新しく基準画像を作成し、自動検品を実施する」をごらんください。
- 7 [サンプル出力] を押します。
自動検品の基準画像が作成されます。
- 8 作成された基準画像の内容を確認します。
→ 印刷されたデータが基準画像として登録されます。基準画像のファイル名は原稿と同じファイル名です。
→ [機械状態] 画面の [基準画像管理] - [基準画像リスト 1] にも、印刷したデータが基準画像として登録され、表示されます。詳しくは、本書「5.1 基準画像を管理する」をごらんください。
→ 内容確認の結果、基準画像を作成し直したいときは、再度手順 1 ～ 手順 7 を行ってください。

手順（検品領域を設定する）

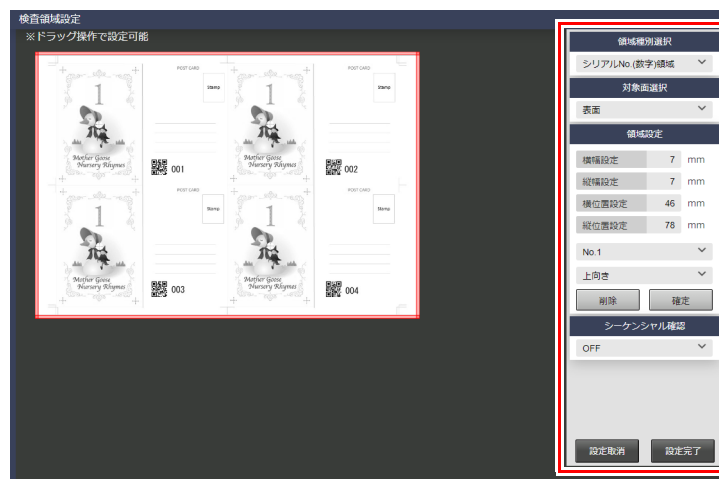
- 1 [機械状態] 画面の [基準画像管理] を押します。
[基準画像管理] 画面が表示されます。

- 2 [基準画像リスト 1] で、「手順（基準画像を作成する）」で作成した基準画像の行を選択し、[検品領域設定] を押します。

[検品領域設定] 画面が表示されます。



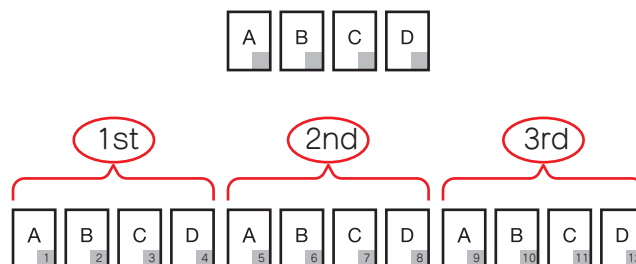
- 3 設定画面で、検品領域を設定します。
→ ここでは、例としてシリアル No.（数字）領域を設定します。



- 4 [領域種別選択] で [シリアル No.（数字）領域] を選択します。
- 5 [対象面選択] で検品領域の設定対象となる面を選択します。
→ [指定ページ] を設定した場合は、[表面] および [裏面] は設定することができません。
- 6 [領域設定] で、[対象面選択] で選択した面に対する領域を設定します。
→ 数値を入力するか、マウスで検品領域をドラッグして設定します。
- 7 [確定] を押します。
[領域設定] が完了します。
- 8 検品領域を 2 つ以上設定したい場合は、No. のメニューリストで [No.2] 以降を選択し、再度手順 6 ～手順 7 の操作を行います。
→ [表面] と [裏面] で、それぞれ最大 30 個まで設定できます。
→ 設定を削除したい場合は、削除したい No. を選択し、[削除] を押します。
→ 設定した検品領域以外で変化する箇所がある場合は、[検査除外領域] を設定してください。手順について詳しくは、本書「6.2 検品領域を設定する」をごらんください。
- 9 [設定完了] を押します。

手順（デコードする）

- 1 繰り返し部分をすべて含んだ印刷ジョブを本機に一時保存します。



- 2 [機械状態] 画面の [ジョブリスト] を押して、[一時保存ジョブ] 画面を表示します。
- 3 手順 1 で保存した印刷ジョブを選択し、[ジョブチケット] を押します。
[ジョブチケット編集] 画面が表示されます。
- 4 [自動検品] を押し、[検品設定] を [ON] に設定し、[基準画像設定] の [登録画像から選択] を有効にし、「手順（検品領域を設定する）」で作成した基準画像を選択します。
→ 手順について詳しくは、本書「3.2 既に作成した基準画像を選択し、自動検品を実施する」をご覧ください。
- 5 [出力] を押します。
- 6 [出力方法] の [通常] を選択し、[OK] を押します。



印刷が開始され、印刷画像から検品領域のデータがデコードされます。
→ 自動検品レポートでデコード結果（CSV ファイル）を確認できます。

- 7 紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities で自動検品レポートを確認します。
→ 自動検品レポートの表示方法について詳しくは、本書「4.3 紙面検査ユニット UK-301 の Web Utilities からの確認方法」の手順 1 ～ 手順 5 をご覧ください。

- 8 印刷したジョブの [Report] をクリックし、表示される画面で [デコード結果] のファイル名をクリックします。

デコード結果の CSV ファイルがダウンロードされます。



- 9 原稿データとデコード結果の CSV ファイルデータを比較します。
- データが一致すれば検品領域のデータが正確に印刷されたことになります。
 - デコード結果でエラーが確認された場合は、元データや検品領域の設定を確認してください。また、検品対象が仕様の範囲内であるかどうかも確認してください。

7.4 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をシーケンシャル確認する

概要

バーコード検品またはシリアル No.（数字）検品の対象となる領域にある連続する数字やバーコードが、正しく変化しているかを確認できます。ここではその設定方法を説明します。

想定環境

項目名	名称
OS	Windows10
アプリケーション	Adobe Acrobat Reader DC
プリンタードライバー	PS Plug-in ドライバー
排紙系オプション	インテリジェントクオリティオプティマイザー IQ-501 紙面検査ユニット UK-301 中継搬送ユニット RU-702 ビデオインターフェイスキット VI-512 ビデオインターフェイスキット VI-513

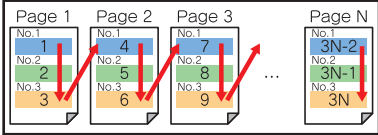
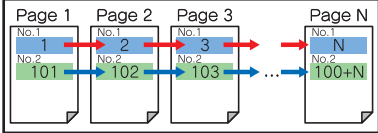
手順（基準画像を作成する）

- 1 本書「7.3 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をデコードして確認する」の「手順（基準画像を作成する）」を参考に、基準画像を作成します。

手順（検品領域を設定する）

- 1 本書「7.3 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をデコードして確認する」の「手順（検品領域を設定する）」手順 1 ～ 手順 8 を参考に、検品領域を設定します。
- 2 「シーケンシャル確認」の方法をメニューリストから選択します。



表示項目	説明
[OFF]	シーケンシャル確認を行いません。
[ページ内確認]	<p>ページ内で順番に並んでいる数字が、領域 No. に従って正しく変化しているかをチェックします。領域 No. は連続している必要はありません。</p> <p>例) 領域 No.1、領域 No.2、領域 No.4（領域 No.3 がない）の場合：領域 No.3 の領域はチェックせずに、領域 No.1、領域 No.2、領域 No.4 の順でチェックします。</p> 
[ページ間確認（同一領域のみ）]	<p>各領域 No. に設定されている数字が、ページ間で正しく変化しているを確認します。</p> 

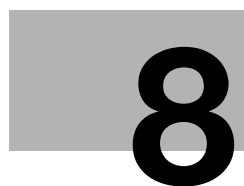
3 [設定完了] を押します。

手順（デコードする）

- 1 本書「7.3 バーコード領域またはシリアル No.（数字）領域をデコードして確認する」の「手順（検品領域を設定する）」手順 1 ～ 手順 8 を参考に、検品領域のデータをデコードし、CSV ファイルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードした CSV ファイルデータを確認します。

表示項目	説明
[ページ内確認]	<div><ul style="list-style-type: none">領域 No. のデコード結果が規則正しく並んでいるか。ページ内の最後の領域 No. のデコード結果と、次の用紙の最初の領域 No. のデコード結果が、規則正しく並んでいるか。<div><div>1.</div><div><div><div>Page 1</div><div>No.1 1 No.2 2 No.3 3</div></div><div><div>Page 2</div><div>No.1 4 No.2 5 No.3 6</div></div><div><div>Page 3</div><div>No.1 7 No.2 8 No.3 9</div></div><div>...</div><div><div>Page N</div><div>No.1 3N-2 No.2 3N-1 No.3 3N</div></div></div><div><p>例）図 1 の 1 ～ 2 枚目間の場合 1 枚目の領域 No.4 と 2 枚目の領域 No.1 のデコード結果は、3、4 と並んでいるため問題ありません。</p></div></div></div>
[ページ間確認（同一領域のみ）]	<div><ul style="list-style-type: none">各領域 No. 毎のデコード結果が用紙間でシーケンシャルに並んでいるか。<div><div>2.</div><div><div><div>Page 1</div><div>No.1 1 No.2 101</div></div><div><div>Page 2</div><div>No.1 2 No.2 102</div></div><div><div>Page 3</div><div>No.1 3 No.2 103</div></div><div>...</div><div><div>Page N</div><div>No.1 N No.2 100+N</div></div></div><div><p>例）図 2 の場合 ページ間で領域 No.1 のデコード結果が、1、2、3 と規則正しく並んでいるため問題ありません。 領域 No.2 についても、デコード結果が 101、102、103 と規則正しく並んでいるため問題ありません。</p></div></div></div>

→ [シーケンシャル確認] でエラーが確認される場合は、デコード結果と元データ（印刷データ）を確認してください。また、検品領域やシーケンシャル確認の設定が仕様の範囲内であるかどうかを確認してください。



トラブルシューティング

8 トラブルシューティング

8.1 設定基準外画像が検知されたら

基準外画像レポートの状況と対処方法

タッチパネルに「設定基準外画像を検知しました」と表示された場合は、基準外画像レポートを確認してください。

No.	状況	原因	対処方法
1	基準外画像レポートに赤丸の注釈が表示され、実際の印刷物にも汚れがある。	基準外の汚れが検知されました。	通紙経路などに汚れがある可能性があります。本機のメンテナンスを行ってください。 詳しくは、HTML ユーザーズガイドの「調整」または「本機の管理」をご覧ください。
2	基準外画像レポートに赤丸の注釈が表示されたが、実際の印刷物には汚れがない。	検品の精度が高すぎる可能性があります。	以下のいずれかのレベルを下げてください。 ・ 検品レベル ・ 「検知濃度レベル」 ・ 「用紙ノイズ除去レベル」
		基準画像と実際の印刷時の用紙が異なっています。	基準画像を作成した時に使用した用紙をセットしてください。 または、実際に使用する用紙をセットして、基準画像を作成し直してください。
		インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501 のスキャナーユニットに汚れが付着しています。	スキャナーユニットを清掃してください。 詳しくは、HTML ユーザーズガイドの「本機の管理」▶「清掃」▶「インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501 の清掃」または「品質最適化ユニット IQ-501 の清掃」をご覧ください。
3	バーコード検品やシリアル No.（数字）検品でエラーが生じる。	元データに異常があります。 または、仕様に沿った設定がされていません。	検品データとデコード結果（レポート内にある CSV ファイル）を確認してください。 また、仕様に沿ったバーコード領域やシリアル No.（数字）領域が設定されているかを確認してください。 詳しくは、本書「6. 自動検品領域」をご覧ください。
4	基準外画像レポートに、ピンク丸の注釈が表示される。	基準画像に汚れがあるか、基準外の画像欠けが検知されました。	本機のメンテナンスを行い、基準画像を作成し直してください。 または「検品レベル」を下げてください。

No.	状況	原因	対処方法
5	基準外画像レポートのしおりに、「alignment error」と表示される。	基準画像と検査画像の位置合わせに失敗しました。	淡い画像や罫線などのシンプルな画像などの場合、位置合わせが失敗する可能性があります。 特定の画像でのエラー発生が続く場合は、[検査除外領域]で対象ページ全面を検査除外領域に設定してください。 詳しくは、本書「6. 自動検品領域」を ごらんください。
		画像に大きな汚れが付いています。	基準画像に汚れがある場合は、基準画像を作成し直してください。 印刷物に汚れがある場合は、本機のメンテナンスを行ってから、もう一度自動検品を行ってください。
		印刷された画像が、基準画像と全く異なっています。	印刷ジョブと基準画像が合致しているか、確認してください。問題ない場合は、基準画像をもう一度作成してください。
6	基準外画像レポートのしおりに、「Too Many Stains」と表示される。	基準内ですが、100 個以上の汚れが検知されました。 (基準外の汚れではないため、赤丸の注釈は表示されません)	通紙経路などに汚れがある可能性があります。本機のメンテナンスを行ってください。 詳しくは、HTML ユーザーズガイドの「メンテナンスをするには」または「調整」を ごらんください。
7	操作パネルに、「検品に失敗しました」のメッセージが表示される。	基準画像と印刷ジョブの用紙サイズが異なっています。	印刷ジョブと基準画像が合致しているか、確認してください。問題ない場合は、基準画像を作成し直してください。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ジャパン株式会社
製造元
コニカミノルタ株式会社